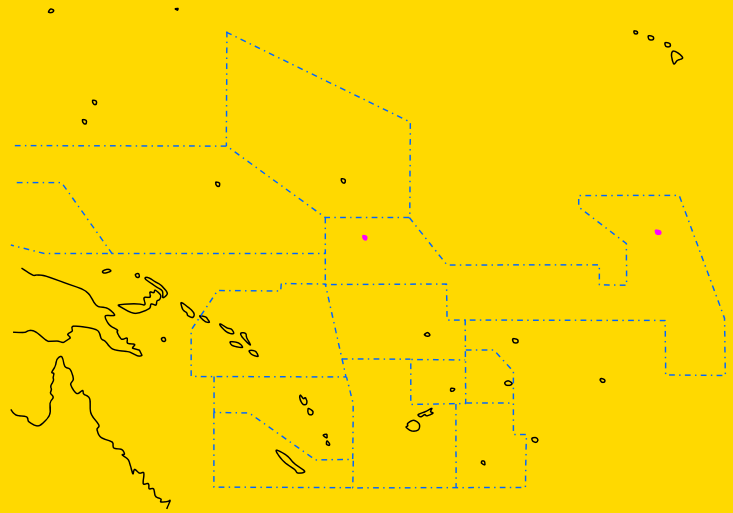


世界の国を知る 🌍 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 キリバス共和国 



【表紙の写真】

(左上)

海岸で楽しくはしゃぐキリバスの子どもたち

(右下)

どこまでも青い空と海とヨット

キリバスでは交通手段として舟が欠かせない



国際機関太平洋諸島センター

Contents

01 こんな想いを込めました!

02 こんな教材です!

03 なぜキリバス共和国?

第1章 キリバスってどんな国?

= サンゴ礁でできた太平洋の島国 ~ 地球の楽園 =

05 クイズ100人に聞きました!

07 島国キリバス ~ 太平洋の14の島国をひとかじり!

11 キリバスを知り、自分(日本)を語ろう!

13 もっと知ろう!キリバス トリビア クイズ

15 フォトギャラリー ~ キリバスのエトセトラ ~

第2章 へえ~!キリバスと日本

17 キリバスと日本のつながり物語

19 まだまだある! キリバスと日本のつながり

21 キリバス・ルルポア小学校の児童から届いた絵手紙

第3章 一緒に考えよう!こんな課題

23 他人事じゃない地球温暖化~キリバスの大問題

25 クリーンアップ! クリスマス島!

第4章 そして未来へ

29 『多文化共生社会』ってどんな社会?

30 号外! 号外! 20年後の新聞です

31 多文化共生社会と地球的課題

参考資料

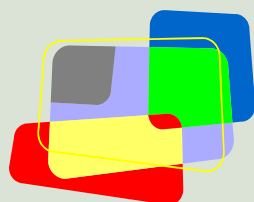
33 目で見るキリバス

35 キリバス地図

36 参考文献・データ等の出典

36 ご協力いただいた方たち

36 2008年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。「国際交流」は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

人の顔が見える教材をつくりたい！

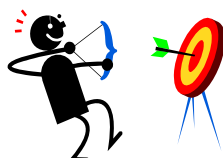
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としていますが、本書自体は、ファシリテーター(参加型プログラムの進行役)や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようようなプログラムにしました。基本的には4~6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしてください。

きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、キリバスのほんの一面です。本書だけでキリバスのすべてがわかるわけではありません。キリバスに親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

使い方は自由です













とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせてどんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、(財)愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または(財)愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2~4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。

	参加型のプログラムです。 必要に応じてコピーし、配布してください。		プログラムで模造紙を使います。
	プログラムに関する説明です。 ファシリテーター・先生用です。		プログラムでマジックを使います。
	プログラムのねらいです。		プログラムで付箋を使います。
	ちょっとブレイク一口コラムです。		プログラムでA4用紙を使います。 裏紙等を活用してください。
	プログラムに使う資料です。 必要に応じてコピーし配布してください。		データ等の出典です。
	コピーし、カード等に切り離して 使ってください。		写真の撮影者です。

なぜキリバス共和国？

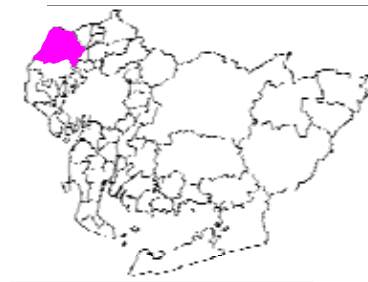
始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国防レンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国(日本を除く)のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国防レンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけでなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国防レンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。

そして、キリバス共和国のホームシティは、一宮市でした。



イタリア共和国
オランダ王国
ベルギー王国
フランス共和国
ポルトガル共和国
モロッコ王国
社会主義人民共和国
リビアアラブ国
セネガル共和国
ベナン共和国
カメルーン共和国
ガボン共和国
南アフリカ共和国
ウズベキスタン共和国
ボスニア・ヘルツェゴビナ
キルギス共和国
モンゴル国
大韓民国
バキスタン・イスラム共和国
ラオス人民民主共和国
カンボジア王国
アゼルバイジャン共和国
イラン・イスラム共和国
サウジアラビア王国
エジプト・アラブ共和国
ケニア共和国
チャド共和国
キリバス共和国
フィジー諸島共和国
ニュージーランド
エルサルバドル共和国
パナマ共和国
ボリビア共和国
ドミニカ共和国

：本教材
：2008年度教材作成の国
：2007年度教材作成の国
：愛知万博公式参加国

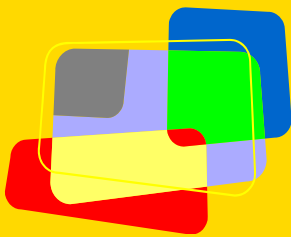
愛知万博 / 南太平洋共同館



第1章

キリバスってどんな国？

= サンゴ礁でできた太平洋の島国 ~ 地球の楽園 =



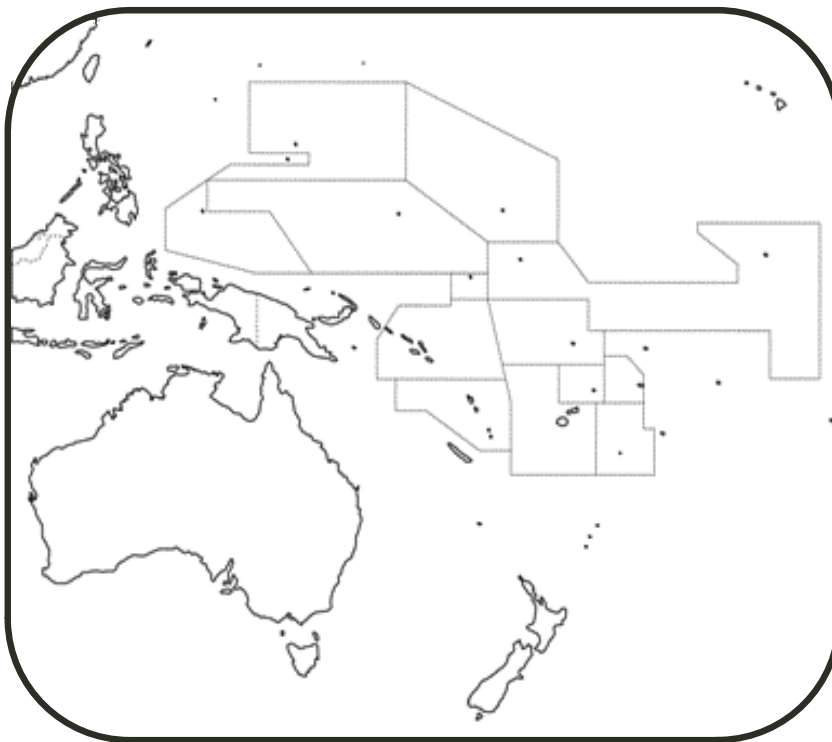
クイズ100人に聞きました！

① ところで、みなさんはキリバスのこと、どのくらい知っていますか？

① キリバス共和国という国を知っていますか？ あてはまるものに○をつけてください。

- (1) よく知っている (2) 少し知っている
(3) 聞いたことはある (4) まったく知らない

② 下記の地図は太平洋諸国の地図です。この地図でキリバス共和国はどこだと思えますか？
だいたいこの辺と思うところに印をつけてください。



③ キリバスと日本との間にはつながりがありますが、どんなつながりだと思えますか？
イメージなど何でもいいので、思いつくものをできるだけたくさん書いてください。

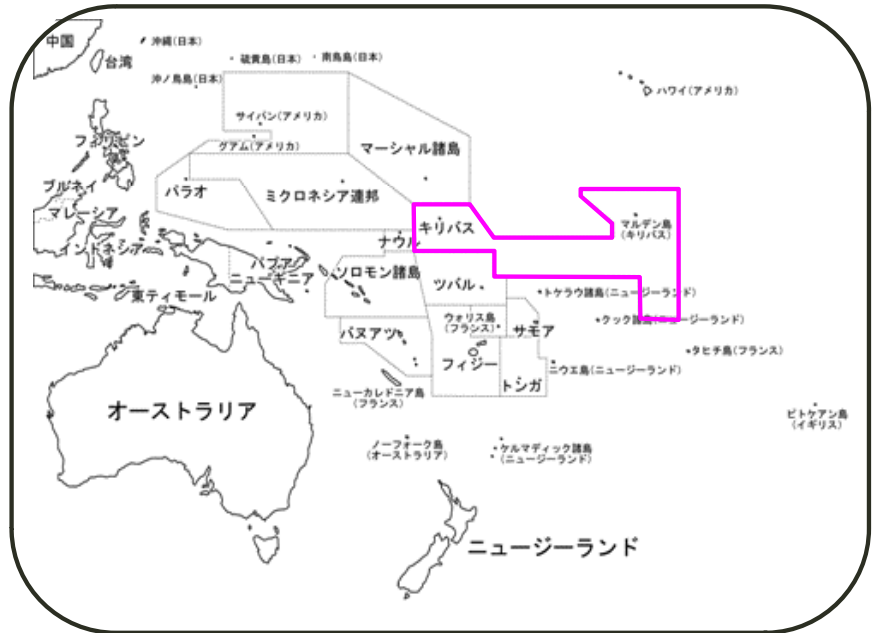
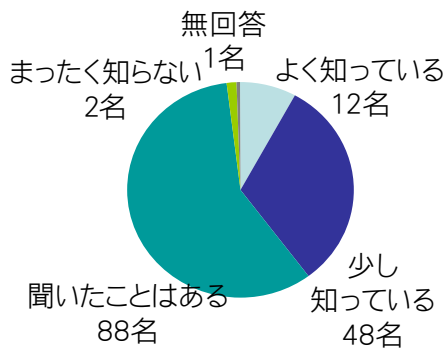


同じ質問を一宮市の小学生151人に聞いた結果は次のようになりました。



まずは「知らないこと」に気づくことから始めましょう。

キリバスのこと知ってる？ どこにある？



キリバスと日本のつながりは？

交流している／作品交換している／お互いに国の文化を伝え合っている／小学校と交流している／少しだけ友好的な関係である／交流が盛ん／それぞれの学校の紹介をしている／手紙のやり取り／昔から仲良しな国／船で行き来している／貿易／日本はキリバスに援助していると思う／クリスマスが同じ時期／地図で同じ線が日本にもキリバスにもかかっている／どちらも島国／人口が同じぐらい／キリバスが日本を尊敬している／仲がいい／留学生が来る／一緒に環境をよくしている／戦争がなく平和だということ／食べものが豊富／観光をしあっている／水やお金を募金したり寄付したりしている／日本人が橋や建物を作っている／木がたくさんある／太平洋戦争のとき日本が占領していた小さい島国 など

キリバスのイメージは？

みんな明るく元気／兄弟国／黒人／陸地が低い／黒人が多そう／海がきれいかも／食べるものや水などがあまりないところ／少数人数／暑い国／文化／村／漁業／貿易

島国キリバス ~ 太平洋の14の島国をひとかじり！

① みんなは、太平洋にどんな島国があるか知っていますか？

● 「太平洋の島国データマップ」をつくろう！

- ① グループで、太平洋の14の島国の範囲のピースを並べて、ジグソーパズルを完成させてみましょう。→その後、その外枠となる部分を受け取り、はめ込みましょう。
- ② 「太平洋の14の島国の一覧表」にある島数、最高標高、人口を、自分たちが作った地図に書き入れましょう。また、次のAとBの視点で色かマークで区別して、最終的に、「太平洋の島国データマップ」を完成させましょう。

A . 最高標高: 100m未満、100m以上 B . 通貨: 米ドル、豪ドル、NZドル、独自通貨

- ③ 「太平洋の島国データマップ」を作ってみて、「太平洋の14の島国の一覧表」を見て、気づいたこと、感じたこと、発表し合いましょう。

● 太平洋の14の島国クイズ！

- ④ 国旗の絵柄の中に★印がある国がたくさんありますが、★は何を表していると思いますか。
A . 島の数 B . 主要な島の数 C . 南十字星
- ⑤ 14の島国の島数の合計は2,192島ですが、それに比べ日本の島数はどれぐらいだと思いますか。
A . 1/2以下 B . 同じぐらい C . 1.5倍以上
- ⑥ これらの島の中には、右の写真のように細長い環状をなし、標高が5mにも満たない島がありますが、このような島は主に何でできていると思いますか(出来た理由も参考に)。

A . 火山の溶岩

…海底火山が噴火して溶岩が流れ固まり、火山は噴火で吹っ飛んだ。

B . サング礁

…沈みゆく火山の周りにサンゴが成長し、サンゴ礁だけが残った。

C . 海底の土砂

…浅い海に隕石が落ちて、海底の中央が沈み、周りが隆起してできた。



📷 ツバル:ISS(国際宇宙ステーション)撮影/環境省



「太平洋の島国データマップ」をつくろう！

1 作業のヒント

- ・サモア周辺のピースの作り方：サモア周辺の水色部分もサモアのピースと一体的に切り取る。
(この部分は、西側：フランス領、東側：アメリカ領、北側：ニュージーランド領である。)
- ・パズルの組み合わせは、経度・経度線や日付変更線を手がかりにするとよい。

2 作業のヒント 周辺の余白に線を引っぱり、書き入れるとよい。

3 想定される気づきと解説

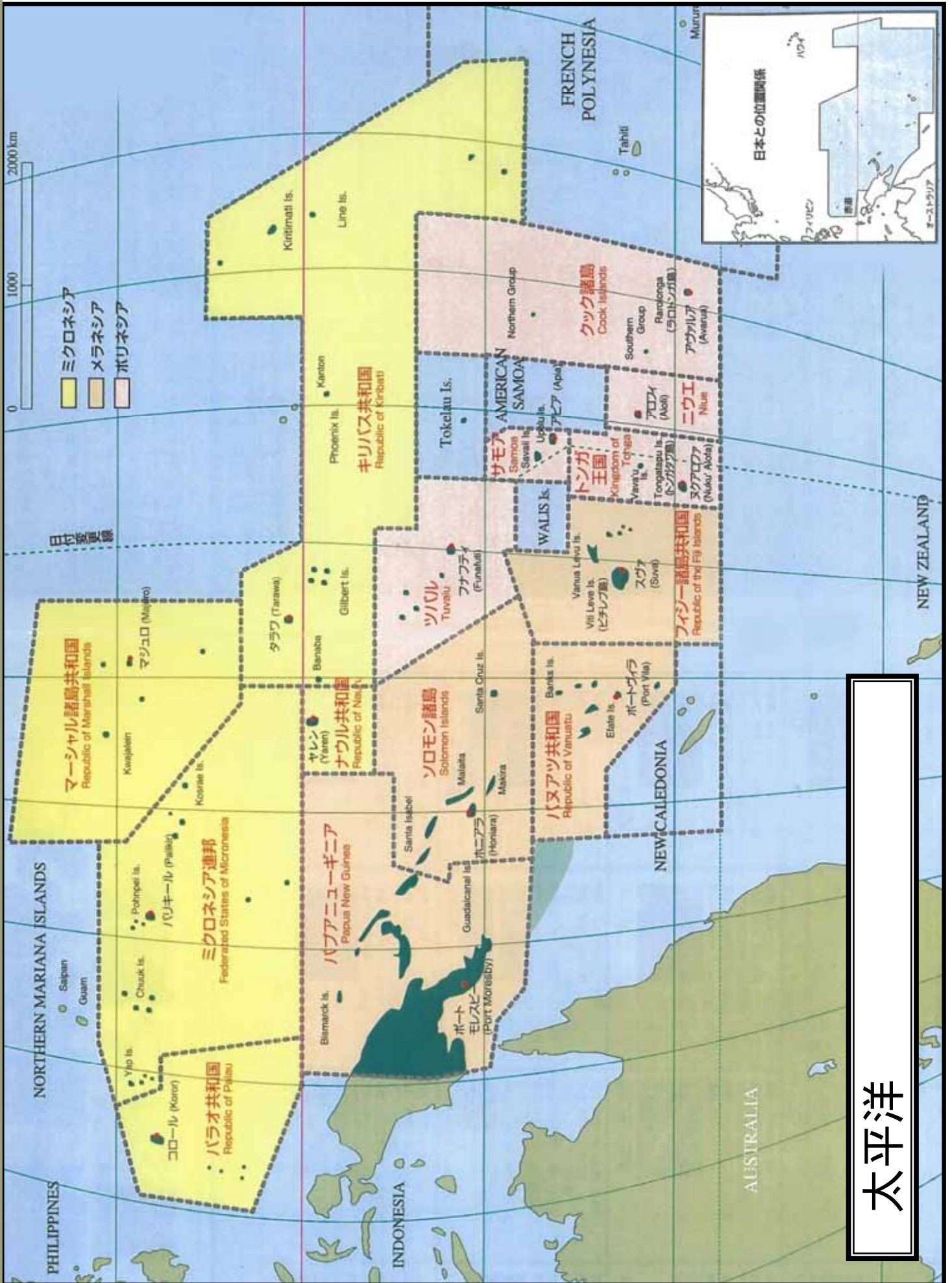
- A** 日付変更線がキリバスのところで極端に曲がっている。
→以前はキリバスの東西に分断する形になっていたが、一番早く2000年が訪れる国としてPRするために、キリバスの都合で領海の東端に移されました。
- B** 最高標高が低い(100m以下)国は、北東の方(太平洋の中央)にある。
→これらの太平洋中央部にある国は、サンゴ礁からできたという島の成り立ちが同じであるため。最高標高が高い国でも、太平洋中央寄りにある島では標高が低い諸島もあります。
(ミクロネシア連邦、クック諸島など)
- C** すべての国で英語が話されている。
→独立前は、イギリスやアメリカにより統治されていた歴史があるためです。
- D** 通貨は、アメリカやオーストラリアなどと同じにしている国もあれば、独自の通貨を用いている国もある。
→経済、政治的な協力関係が特に強い国は、協力国の通貨を使用しています。
・例1: アメリカとの自由連合協定を結んでいる国：パラオ、ミクロネシア連邦、マーシャル諸島
・例2: 国連で独立国ではなくニュージーランドの一部とされている国：ニウエ、クック諸島

太平洋の14の島国クイズ！

- 4 こたえと解説** **A** ~ **C** すべてです。2つの意味を持っている国もあります。
A. 島の数 : ツバル、クック諸島
B. 主要な島の数 : ミクロネシア連邦、ソロモン諸島
C. 南十字星 : ミクロネシア連邦、ソロモン諸島、パプア・ニューギニア、サモア、ニウエ

- 5 こたえと解説** **C** です。
日本の島数は、周囲100m以上の島では6,852島(本州も1島)と発表されています。この場合だと太平洋の島国の合計の3倍以上になります。ただ、統計の条件が定かではなく、太平洋の島国の合計が4,000島以上としている統計もあるので、1.5倍以上をこたえとしました。

- 6 こたえと解説** **B** です。
太平洋の島々で、高い島は火山島、低い島は環礁島です。環礁とは、海底火山の山頂あたりに何10万年もの歳月をかけてできたもので、サンゴの成長によって環礁が作られることを最初に発見したのは、進化論で有名なダーウィンです。



太平洋



太平洋の14の島国の一覧表



太平洋の14の島国の一覧表

地域	国名	国旗	島数	人口	主要言語	景色・人々の様子	
			最高標高	在留日本人	通貨		
ミクロネシア	パラオ		200島	19,907人	パラオ語、英語		
			210m	301人	米ドル		
	ミクロネシア連邦		607島	108,031人	英語および現地の8言語		
			791m	114人	米ドル		
	マーシャル諸島		34島	52,338人	マーシャル語、英語		
10m			70人	米ドル			
キリバス		33島	92,533人	キリバス語、英語			
		81m	27人	豪ドル			
ナウル		1島	9,855人	英語、ナウル語			
		61m	1人	豪ドル			
メラネシア	パプア・ニューギニア		600島	6,187,000人	英語、モツ語、ピジン英語		
			4509m	207人	キナ		
	ソロモン諸島		105島	495,000人	英語、ピジン英語		
			2330m	68人	ソロモン・ドル		
バヌアツ		80島	221,417人	ピジン英語、英語、仏語			
		1878m	85人	バツ			
フィジー諸島		332島	837,271人	英語、フィジー語、ヒンディー語			
		1323m	420人	フィジー・ドル			
ポリネシア	ツバル		9島	9,760人	英語、ツバル語		
			5m	13人	豪ドル		
	サモア		5島	179,186人	サモア語、英語		
			1844m	105人	サモア・タラ		
	トンガ		170島	101,991人	英語、トンガ語		
			1014m	64人	パ・アング		
	ニウエ		1島	1,625人	ニウエ語、英語		
			224m	不明	NZドル		
	クック諸島		15島	11,900人	クック諸島マオリ語、英語		
652m			不明	NZドル			

注：人口、在留日本人は、2006～2008年値（基本として2007年値）である。

キリバスを知り、自分(日本)を物語ろう!

② 他(国)の国(人)のことを知ることは、自分のこと(国)をふりかえること。キリバス人「エレアタさん」(架空の人物)の考えや生活の一コマを見聞きして、自分(日本人)はどうか考えて、日本のことを知らないエレアタさんに話すつもりで、隣の人と1分間以内で物語りあってみよう。

キリバス・「エレアタさん」

自分(日本)は?

1 毎日の食事

主食は、最近ではオーストラリアから輸入される米が主で、ほかに、パンの実やタロイモ、ココナッツの果肉は昔から食べられてきた主食だよ。副食は、お父さんが捕ってきたお魚を食べることが多いよ。炊事の燃料はヤシの実の皮。水は村にある井戸の地下水を汲んでいるよ。家族一緒に、大きな台に食べ物を囲んで取り分けて楽しく食べるよ。



1 パンの実:果肉はでん粉質で濃いバナナのような味



2 ごはんも魚も大皿に盛って



3 炊事場の様子



4 食事の風景

2 普段着ている服

男性は、ショートパンツと木綿のシャツがほとんどで、中には上半身裸の人もあるよ。女性は、膝下まであるゆったりとしたスカートにポロシャツが多いよ。そしてみんな裸足! 伝統的には、男女ともにラバラバと呼ぶ腰巻きのようなスカートを着ることもあるよ。



5 上半身裸で椰子ジュース



6 女性の一般的な服装



7 街中の子どもも裸足

3 住んでいる家

私は、長方形の壁のない高床式の家に住んでいるよ。家の材料は、島に生えているパングナスという木をとことん使っていて、幹を柱に、葉っぱを屋根や寝具のマットなどにしているよ。床もヤシの葉の芯を並べたもの。街中では、ブロック壁にトタン屋根の家が多くなってきているみたい。



8 伝統的な北タラワの家



9 部屋の様子



4 学校

義務教育は、6歳から入る小学校で、7年生までだよ。7年生の時に、国の入学試験を受けて、セカンダリー・スクール(中等学校)へ進むんだ。ここで不合格になった子は、もう2年間小学校に通んだけど、9年生の時にもう一度試験があって、先に入った子と同じ学年に編入できるから大丈夫。でも、セカンダリー・スクールに進むのは小学生の約20%程度なんだ。最後には全国で30名前後まで絞られて、修了すると奨学金を受けて、海外の大学に進学していくよ。



10 小学校



11 セカンダリー・スクール



5 気候

私が住んでいるタラワ島では、気温はいつも27~28℃ぐらいで、雨は年間2000mmぐらい降るらしい。いわゆる「熱帯性気候」ってやつで、昼夜の気温の変化も小さいんだ。



6 キリバス人の性格や国民性

みんな陽気で、歌と踊りが大好き。調子に乗ると、何時間でも歌って踊っているよ。

自給自足ができるので、食べ物心配がないし、性格はとてもおおらか。お金に関しても執着がなく、「持てる者から、持たざる者へ」という風習が続いていて、村の仲間としっかり助け合って生活しているよ。



12 集会所に集まって踊る



もっと知ろう！キリバス トリビア クイズ

① 次に紹介したのは、キリバスにまつわる、ちょっとしたトリビアです。さてホントの話？



① キリバスにはサンタクロース島という名前の島がある。



② キリバスには、ロンドン、ポーランド、パリといった地名がある。



③ キリバスの首都があるタラワ島は、北端から南西端まで、車で移動ができる。



④ キリバスは、2008年の北京大会で初めてオリンピックに出場した。



⑤ キリバスの人は、太平洋の島国の中でも、時間にとっても厳しい。



⑥ キリバスの女性は、平均して5人子どもを産む。



⑦ キューバ人の医者のおかげにより、キリバスの幼児死亡率が大きく減少した。



⑧ キリバスは、温暖化で沈む恐れがあるため、全海岸線に堤防を築く計画が進められている。



⑨ キリバスのクリスマス島から、自分の直筆のクリスマスカードを届けてもらうサービスがある。





1 **×ウソ** サンタクロース島はありませんが、クリスマス島はあります。クリスマス島は、キリバスの東端のライン諸島、赤道直下にあります。キャプテンクックが1777年クリスマスイブに上陸したことにちなんで命名されました。

2 **ホント** クリスマス島にあります。名前の由来は、次の説があります。パリ:南太平洋の宣教師をしていたフランス人が母国をしたので付けた。ポーランド:そのフランス人が経営したプランテーションの場所で、甥がポーランド人だったとか、労働者の一人がポーランド人だったから。ロンドン:イギリスがクリスマス島を植民地にした時に、パリの対岸にあった土地をドーバー海峡に見立ててロンドンと呼ぶようになった。

3 **×ウソ** 右図のように、島の南東から北にかけて、途切れ途切れの島が続き、橋のないところも多いので、空港から北タラフ方面に行く場合は、船で行く必要があります。

4 **×ウソ** キリバスは2003年にIOCに承認され、2004年のアテネオリンピックが初出場です。北京オリンピックには3人の選手団を送り、陸上競技とウェイトリフティングに参加した。

5 **×ウソ** キリバス・タイムというものがあり、例えば食事に招かれ、その約束の時間に行くと、まだ何も用意されていない。これは一般の家庭でのことだけでなく、大勢が集まる結婚式の披露宴でも同じことで、1時間ほど遅れていくのが礼儀のようです。

6 **ホント** キリバスでは一人っ子はほとんどなく、最低3人、多いところは10人以上の子どもがいて、平均すると5人ぐらいいることとなります。日本と違って、子沢山でも親や親戚が面倒を見てくれるし、子を産むことが一族の繁栄につながると考えられているため、女性は子どもを産むことをいとみません。ただ、キリバスでは、人口増加が社会問題になっています。

7 **ホント** 2006年、10人のキューバ人医者がキリバスを訪問したことにより、キリバスの幼児死亡率が80%減少しました。1000人当たり50人の死亡を9.9人まで減少させたこととなります。

8 **×ウソ** キリバスは、細長い環礁になっており、堤防で囲うことは不合理で不可能なことです。そのため、大統領は、2007年、温暖化に伴う海面上昇については「国民の平穏な生活を奪う『環境テロ』」と先進国に対して強く非難し、10万人の全国民の移住政策を検討していると明らかにしました。

9 **ホント** 「クリスマス島からクリスマスカード」プロジェクトは、温暖化による海面上昇の被害を受けている南の島々の現状を、多くの方々に知ってほしいという目的で行われ、売上の一部は海面上昇の被害を受けている現地政府に提供されています。詳しくは <http://xmas.site.ne.jp> まで。





フォトギャラリー ~ キリバスのエトセトラ ~



1 白い砂浜、碧い空、木々の緑、エメラルド色の海...美しい



2 その昔、太平洋を渡った船と今も同じ



3 椰子の木



4 キリバス銀行



6 幹線道路の車(トヨタ車)



7 キリバス美人



5 パンダナスの葉で敷物などを作る女性たち



8 キリバスの教会(キリバス人の80%がクリスチャン)



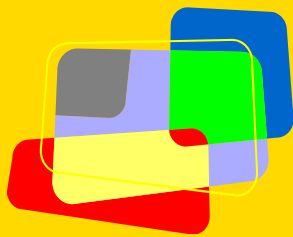
9 衣装と謡いが独特なキリバスの伝統的な踊り





第2章

へえ～！キリバスと日本



キリバスと日本のつながり物語

① 4枚の写真からキリバスと日本の一つの経済的なつながりを探り、物語にしてみましょう。

写真 A



写真 B



写真 C



写真 D



- ① 4つの写真から、読み取れることを出し合いましょう。
- ② 4つの写真から読み取ったことをもとに、キリバスと日本のある経済的なつながりを簡単な物語にしてみましょう。
- ③ 作った物語を発表しあい、最後に、写真の背景を聞いて、自分たちが作った物語は、あっていたか、ふりかえりましょう。



写真A～Dの内容

- 写真 **A** : カツオやマグロの一本釣りの練習をしているところ
 写真 **B** : 日本語講師により、日本語を学んでいるところ
 写真 **C** : 女性がカツオを道端で売りさばっているところ
 写真 **D** : ミクロネシアまで遠洋漁業で出かけてきた日本船が港に停泊しているところ

4枚の写真の背景～キリバスの経済を助け、日本人の食生活を支えるかつお・まぐろ漁

キリバスは、赤道をはさんで東西に長く3つの諸島が位置しているため、キリバスが自分の海と言える海域（専門用語では「排他的経済水域」と言います）は広大になっています。これらの海域は、水産資源の宝庫であり、熱帯性の魚のほか、日本人が好んで食べるかつおやまぐろも多く捕ることができます（写真C）。そのため、日本の遠洋漁業を営む漁師たちは、キリバスに入漁料を支払って、キリバスが持っている海で、かつおやまぐろを捕って、日本に運んでいるのです（写真D）。

こうした漁船には、日本人だけでなく、キリバスの若者も働いています。それは、キリバスでは、若者の働き口を作るため、漁船員養成所（FTC）があり、そこでは日本人講師による漁法（写真A）および日本語の指導（写真B）を行い、日本の漁船へと多くの若者を送り出しているからです（平成14年時点で約730人が卒業し、約300人が日本カツオ船に従事しています）。

ちなみに、キリバスの漁師もかつおやまぐろ漁を行い、冷凍して日本へ輸出しており、キリバスの日本への輸出額のほとんどが、冷凍かつお、冷凍まぐろで占め（下表参照）、日本からお金を稼ぐ重要な輸出品目になっています。また、日本から見ると、キリバスからの冷凍かつお、冷凍まぐろの輸入量は、世界で6～7位になっており、日本人の食生活に関係の深い国です。



キリバスから日本に輸出している品目ごとの金額

(US\$1,000)

品目	2003	2004	2005	2006	2007	Total
食料品、動植物製品	19,652	5,448	1,232	2,031	1,647	30,010
魚介類	19,644	5,440	1,226	2,031	1,600	29,941
・きはだまぐろ(冷凍のもの)	6,274	1,771	408	1,118	937	10,508
・かつお(冷凍のもの)	13,344	3,669	804	908	658	19,383
・めばちまぐろ(冷凍のもの)	26	0	14	5	5	50
・その他のまぐろ(冷凍のもの)	0	0	0	0	0	0
その他の動植物生産品*	8	8	6	0	47	69
・こい・金魚等観賞魚	8	8	6	0	47	69
原料品	0	5	11	68	12	96
工業製品	3	5	0	18	2	28
特殊取扱品	0	3	9	0	0	12
総額	19,655	5,461	1,252	2,117	1,661	30,146



データ:財務省、品目分類:ジェトロ(日本貿易振興機構)の「貿易統計データベース」



まだまだある！キリバスと日本のつながり

① キリバスの日本には他にも様々なつながりがあります。どんなつながりがあるか探ってみよう。

● キリバスと日本のつながりフォトランゲージ

次の写真群を見て、日本とどのようなつながりがある写真か考え、発表しあおう。

1



2



● キリバスと日本のつながり ウソ・ホントクイズ！

次のキリバスと日本のつながりは、ウソ？ それともホント？

③ キリバスには、日本の打ち上げた宇宙衛星を追跡する日本の基地がある。



④ 日本の名古屋市には、キリバスとの友好を進める日本・キリバス協会がある。



⑤ キリバスには、クリスマス島の海水で自然塩をつくり、日本向けに販売している塩田／製造所がある。





キリバスと日本のつながりフォトランゲージ

1 こたえは、太平洋戦争時の日本軍の砲台跡と現地でなくなった日本兵の慰霊碑。

太平洋戦争中は、旧日本軍は、キリバス・ギルバート諸島のバナバ、ブタリタリ、タラワ、アベママの諸島を占領しました。特に、タラワは、激戦地として知られ、1943年11月、米軍の猛反撃にあって玉砕しました。タラワ島とブタリタリ島で5,275名の死者を出し、米軍も1,075名もの死者を出しました。戦後60年以上経った今でも、生き残った旧日本兵や遺族の方が、慰霊碑を訪れています。

2 こたえは、日本の援助によって造られた公共施設。

右の写真 は、1987年に完成した官庁街バイリキと港町ベシオを結ぶ約3.5キロの埋め立て道路。道路からは、すばらしく青色をしたラグーンを一望できる。この道路を現地の人たちは“ニッポン・コースウェイ（日本の土手道）”と呼んでいます。

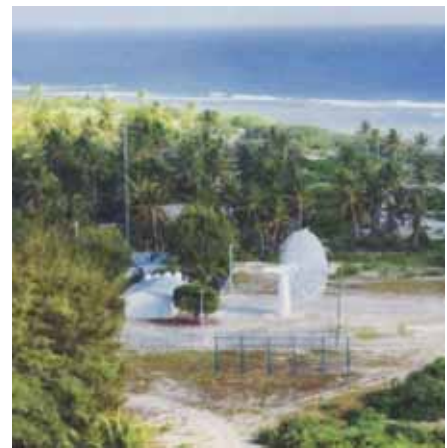
左の写真 は、キリバス唯一の総合病院「トゥンガル総合病院」の施設の建て替えと医療機材の供与に対して、日本は資金援助を行い、キリバスの保健・医療体制が強化されました。その記念に、キリバス政府が発行した切手シートの図柄（一部）です。

キリバスと日本のつながり ウソ・ホントクイズ！

3 ホント クリスマス島には、NASDA／日本宇宙開発機構の衛星追尾用のレーダーステーションがあります。また、日本製スペースシャトルHOPE-Xの実験機の着陸実験場の建設が行われています。

4 ホント 南太平洋、島、海好きの集まりで、キリバスとのんびり友好しています。愛知万博の際には、キリバスとの交流に一肌脱ぎ、その後も、一宮市の小学校2校とキリバスの小学校2校間での交流を支援しています。この教材を作る際にも協力いただきました。

5 ホント クリスマス島では、日本の会社が、クリスマス島に塩田などをつくり、生産・販売しています。「世界一美しい海」と言われるクリスマス島のきれいな海から海水を汲み上げ、それを約3ヶ月かけて、熱帯の強烈な日差しだけで干し上げてつくられます。最近では、関東地区限定でクリスマス島の塩を使ったポテトチップスが売られています。



キリバス・ルルボア小学校の児童から届いた絵手紙

一宮市の赤見小学校と葉栗北小学校は、愛・地球博でキリバスとの交流校になったことがきっかけで、現在も、キリバスの小学校と交流活動をしています。

次の絵手紙は、赤見小学校6年生が習字の色紙を送ったお返しに、ルルボア小学校の友だちから届いたものです。キリバスの生活の様子が垣間見られますね。

なお、運送は、キリバスで建設事業を行っている大日本土木(株)の協力を得て行っています。



[訳] **パンダナス**:パンダナスはキリバスで最も重要な木の一つです。この木は、私たちに食べ物、薪、屋根や壁などの家の材料、薬をもたらせてくれます。



[訳] **釣り船**:キリバスの人は、魚釣りにカヌーを使います。彼らは、海でとてもたくさんお魚を捕ります。
 <下の絵> イルカ、ウナギ、亀、魚



[訳] **庭**:庭にはたくさんの木があります。パンダナスの木、ココナッツ、ポーポーは、キリバスでは重要な木です。それからキャベツも育てられています。



[訳] **漁網**:1. キリバスの人は漁網を使います。
 2. この網は、魚を捕るためにとても重要です。
 3. 私のおじいちゃんは、魚網が好きでした。



[訳] **キリバスの踊り**:キリバスの踊りは、楽しいです。キリバスの人たちは、とても踊るのが好きです。この絵は、踊りの仕方です。

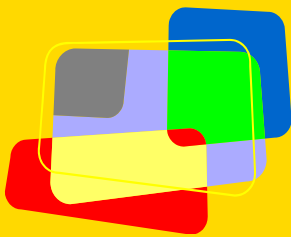


[訳] **キリバスの食べ物**:キリバスには、たくさんの地元の食べ物があります。魚、パンの実、ポーポーの実、パンダナスの実、ココナッツ。さらに、魚、ウナギ、サメ、タコ、亀など多様な魚介類です。私たちは、外国からのものより、私たちの地元の食べ物を食べるのが好きです。



第3章

一緒に考えよう！こんな課題



他人事じゃない地球温暖化～キリバスの大問題

① 今、キリバスで、世界各国で問題となっている地球温暖化は、どんな影響があるのか、どんな原因で起きているのかについて、自分の知っていることや思いつくことを、出し合っていきましょう。

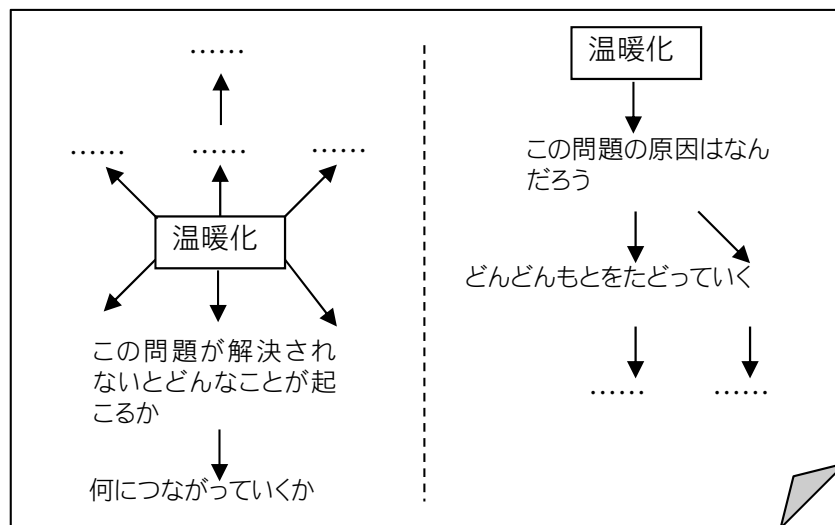
① まず、「地球温暖化の影響」の行き着くところと「地球温暖化の原因」について の手順で出し合ってみましょう。

グループで、模造紙を囲んで座り、各自マジックを1本ずつ持つ。

模造紙を半分に折り、左半分の中央に「温暖化」と書き、「もし、地球温暖化がそのまま解決されないとどんなことが起きるか」、さらにそれが起きたら「何につながっていくか」を、ブレインストーミングという手法で、どんどん考えて、模造紙に書き加える。10分間。

さきほどの模造紙の右半分の上の方に「温暖化」と書き、「地球が温暖化する原因は何か」、さらに、「そうなる原因」を考えて、根本の原因を探り、模造紙にどんどん書き加える。10分間。

他のグループの模造紙を見て回り、自分のグループにないアイデアを持ち帰り、グループで発表しあう（その際、模造紙に書き加える）。



模造紙のまとめかたの見本

② 「地球温暖化の影響」のうち、自分に影響が及ぶと思うものに自分のサインを、特にキリバスの人たちに影響が及ぶと思うものに (キ) マークを入れましょう。また、「地球温暖化の原因」のうち、自分がその原因を作りだしていると思うものに、同様にサインをいれましょう。

③ 資料「地球温暖化の影響とキリバスの現状」を読み、これまでのワークを通じて、自分にできることを個人で5個ずつ書き、グループで紹介しあい、それをもとに、「キリバスのために私たちが今後すること7か条」を作り、全体で発表しましょう。

地球温暖化の影響とキリバスの現状

何がどうなる？	具体的には？	日本では？	キリバスの現状は？
<p>水</p> <p>干ばつや洪水が増え、水不足や水被害がますます深刻となる</p>	<p>地球温暖化により、突然、大雨で洪水になったり、毎年降っていた雨が全く降らなくて干ばつになったり、台風が巨大化して、多大な被害を出したりする恐れがあります。こうした気候の変動は、人の生存だけでなく、農業などにも大きな影響を及ぼします。</p>	<p>都市圏では特に夏、今でも水不足に悩まされる事がありますが、その状況が加速します。</p>	<p>深刻な干ばつによって数千人が水不足に！</p> <p>キリバスの南部環礁に住む数千人がエルニーニョによる深刻な干ばつの被害を受けている。同国の気象台は、小さな島には限られた水しか貯蔵されておらず、住民の生活用水の供給が非常に脅かされていると指摘している。過去数ヶ月の間、同国の南部環礁ではほとんど雨が降っていない(雨が降ったのは今年3月だけ)。[2007年11月報道]</p>
<p>自然</p> <p>自然の生態系が崩れ、絶滅する種が増える</p>	<p>植物は、温暖化の影響で、気候が急速に変わること、動物は、住みかの環境が変わったり、エサとなる動植物が少なくなったりすることで、その変化に適応できないものは、絶滅してしまう恐れがあります。</p>	<p>リンゴが作れなくなったり、熱帯系の動物が増えたりするかもしれません。</p>	<p>海面上昇により、海岸崩壊、高潮被害拡大！</p> <p>温暖化による海面上昇の被害は至る所で目にします。大統領は、全国民移住計画を考えています。</p> 
<p>低地</p> <p>海面上昇により沿岸域の低地が水没する</p>	<p>沿岸域の低地には、多くの人が住み、動植物にとっても重要な生息場所です。しかし、地球温暖化で、海水の膨張や氷河などの融解により海面が上昇し、水没、海岸侵食、淡水帯水層への塩水の進入などの影響を及ぼします。</p>	<p>日本にも海拔が低いエリアが沢山あります、大きな被害が予想されています。</p>	<p>波でヤシの木が倒されてしまっています。植物は堆積した砂に根を下ろして島を波の浸食から守っていますが、このように倒されてしまうと、波から島を守るものは無くなってしまいます。</p> 
<p>健康</p> <p>死亡率や伝染病危険地域が増加し、公害も加速する</p>	<p>夏季に、熱射病などの発生率や死亡率が増加したり、死亡率の高い熱帯熱マラリアなどの流行する範囲が広がる恐れがあります。また、気温上昇により光化学スモッグなどの公害被害が高まります。</p>	<p>熱帯性の伝染病などが猛威をふるうかもしれません。光化学スモッグが拡大する恐れもあります</p>	<p>大潮の時に、普段は陸地の場所が、海水が流れ込んでしまっているところ です。</p>



クリーンアップ！クリスマス島！

❓ ごみが落ちていないまちにするために、クリスマス島の事例から考えましょう。



- 1 写真は、ある時のクリスマス島の海辺を写したものです。何百メートルにもわたり、枯れ枝や空き缶、プラスチックなどのゴミが散乱していました。もしあなたが、クリスマス島の住民だとしたら、この状況を見てどうしますか。次の2つの考えで、自分の意見に近いものを選びましょう。

A. 「なんとかしようとする派」 B. 「見て見ぬふりをする派」

- 2 グループで、A、B分かれて役割を演じ、それぞれの主張や思いを出し合ひましょう。
(それぞれの派の主な主張や思いを、箇条書きをして、共有しながら進めます)
- 3 箇条書きの内容をふりかえり、「見て見ぬふりをする派」の思いも理解したうえで、この状況を変えるためにできることを、出し合ひましょう。→その後、全体で発表する。
- 4 この写真の後、日本人の有志が集まって行ったことに関する資料を読んだ後、自分たちの考えた内容と照らし合わせ、感じたことを話し合ひましょう。
- 5 日本人の有志が立ち上げた「クリスマス島クリーンアップ基金」は、ごみ拾いといった対処療法だけでなく、永続的にクリーンなクリスマス島にするために、様々な活動を行っています。まずは、自分(たち)だとしたら何をするかのアイデアを出し合ひましょう。→その後、全体で発表する。
- 6 出されたアイデアを共有し、「クリスマス島クリーンアップ基金」が行った施策記事を読んだ後、クリスマス島のために、あるいは自分のまちをきれいにするために、自分がこれからしようと思うこと宣言を1つ考え、発表しましょう。

「クリスマス島クリーンアップ基金」が散乱するゴミを前に行った対策

日本からの派遣チームを組み、クリスマス島へ行き、2つの高校の生徒に活動主体となってもらい、干潮時を狙って各自の腕幅分(150cm×100人)、合計約150mのビーチクリーンアップを実施しました。キャンペーンテーマである「分ければ資源、捨てればゴミ」を知ってもらうため、ゴミをタイプ別に収集し、収集トラックにもそれぞれタイプ別に積みました。その結果と活動状況は以下のとおりです。



手をつないで各自の腕幅分(150cm×100人)
合計約150mのビーチクリーンアップ



ごみは分別してトラックに載せる



永続的にクリーンなクリスマス島にするために行った様々な活動(抜粋)

① クリスマス島クリーンアップ基金を立ち上げ、活動の目標を立てた。

- ★ キリバス政府と協力して、キリバス、クリスマス島の美化・環境保護の為に、計画的かつ定期的に、クリスマス島内の清掃作業を行います。
- ★ 島民、島訪問者が、環境美化運動に直接参加することで、彼等の環境保護に対する自覚を促すとともに、環境への意識の変革を図ります。
- ★ 対外的にクリスマス島の環境保護を訴えることで、世界の人々の協賛と理解を得るよう努めます。

② キリバス政府関係者や民間団体との定期会議を開催し、現状を確認し、今後の方向を検討した。

③ ドラム缶ゴミ箱を活用したゴミ回収システムを提案し、事業を進めた。 (ドラム缶ゴミ箱の製作、ごみ回収車やペットボトルのプレス機などの寄贈など)



④ 椰子を燃料としたアルミ溶解炉の設置やアルミ溶解デモによる意識化で、アルミ缶リサイクルを進めた。



⑤ 定期会議で、プラスチック類の輸入を控えることを決定した。

⑥ 一番きかない所写真展、環境教育紙芝居、ゴミとコイン交換など環境教育・キャンペーンを行った。

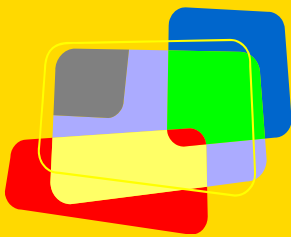


⑦ 島にある全ての学校に、初の環境教育用テキストを配布した。



第4章

そして未来へ



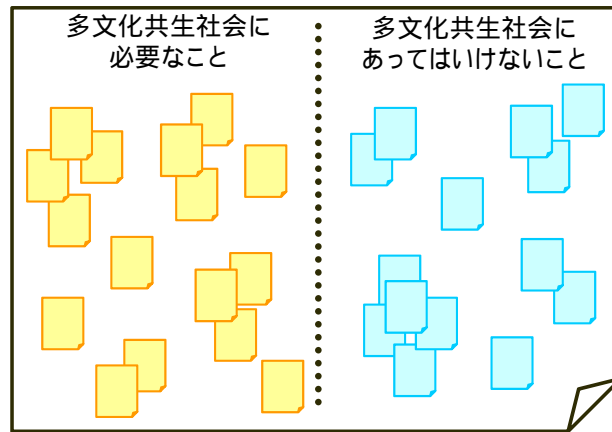
『多文化共生社会』ってどんな社会？

① 地球のみんなが一緒に生きていくということは
どうのことなのでしょう？



- ① みなさんは、『多文化共生社会』ということばを聞いたことがありますか？
「多くの文化が共に生きる社会」というのは、いったいどんな社会でしょう？
「多文化共生社会に必要なこと」を黄色い付箋紙に、「多文化共生社会にあってはいけないこと」を青い付箋紙に書き出してみましょう。付箋1枚に1項目ずつ、できるだけたくさん書いてみてください。

- ② 4～6人のグループに分かれましょう。
各グループで模造紙を用意し、半分に区切ります。左側には「必要なこと」、右側には「あってはいけないこと」を貼っていきます。みんなの意見を共有するために、1人ずつ読み上げながら貼ってください。また、他のメンバーが似たようなものを貼った時はその近くに貼ってください。



- ③ 模造紙にまとめたことをもとにグループで「多文化共生社会とは……な社会」という文章をつくってきましょう。

- ④ では、そんな社会を実現するために、私たちにできることは何でしょう？
一人ひとり、A4の紙に「私たちにできること7か条」を書いてみましょう。

- ⑤ 一人ひとりがつくった7か条をもとに、グループで「多文化共生社会を実現するための7か条」にまとめ、右のように模造紙に書いてみましょう。

- ⑥ 全員で発表し、感想を話し合きましょう。

多文化共生社会とは

な社会

そんな社会を実現する
ための7か条

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

号外！号外！20年後の新聞です



20年後の地域と地球はどうなっているでしょう？
どうなっているといいでしょう？

みなさんは新聞記者です。20年後の明日発行する新聞記事を書いているところです。
20年後はどんなニュースが新聞に載っているでしょうか？ だれにでもわかりやすいことばでまとめてみましょう。

- 1 まずは、グループで新聞名を決めましょう。
模造紙を横にして半分に区切り、
新聞名と日付を書き込みましょう。

20xx年 月 日	20xx年 月 日

新聞

- 2 20年後地域と地球がこんな風になっている
といいなと思うことを想像し、ニュース記事に
まとめてみましょう。模造紙の右半分に地域のニュースを、左半分に地球のニュース(あるいは、キリバスの
ニュース)を書きます。

- 3 全員で発表し、感想を話し合ってみましょう。

- 4 さて、今の生活を続けていったとき、ニュースにまとめたような地域や地球が実現できると思いますか？
実現するために、自分がやろうと思うことを1つ決めて、グループで共有しましょう。

多文化共生社会

1990年の入管法改正により、主に南米からの日系人が多く日本に住むようになりました。近所や学校、職場に外国籍の方がいるのがあたりまえの状況の中でことばの問題、文化・生活習慣の違いからくるトラブル、子どもたちの教育問題、近年の経済悪化による雇用の問題などさまざまな課題が生じています。そうした課題に取り組む中で目指しているのが、「多文化共生社会」の実現です。この「多文化共生社会」とは、「国籍にも、性別にも、年齢にも、障害の有無にも関わらず、すべての人が暮らしやすい社会」と位置づけられています。愛知県が2008年にまとめた「多文化共生推進プラン」では、愛知がめざす多文化共生社会を「国籍や民族などのちがいにいかかわらず、すべての県民が互いの文化的背景や考え方などを理解し、ともに安心して暮らせ活躍できる地域社会」としています。そうした社会を実現するために、2006年には、総務省から各自治体に向けて「地域における多文化共生推進プラン」が出されました。その中では、特に外国籍住民も暮らしやすい社会を創るために、次のようなことに取り組んでいくと書かれています。

コミュニケーション支援

多言語による情報提供、相談窓口の設置、日本語学習の支援など

生活支援

入居差別の解消、教育にかかる情報提供、進路指導、就業支援、就業環境の改善、外国語対応可能な病院・薬局等の情報提供、医療通訳者の派遣、健康診断・健康相談の実施、高齢者や障害者への対応、災害時の通訳ボランティアの育成、災害時の情報の多言語化など

多文化共生の地域づくり

地域住民への啓発、多文化共生の拠点づくり、外国籍住民の地域社会への参画推進など

地球的課題(グローバルイシュー)

一国では解決することが難しい、人類共通の課題を「地球的課題」「地球規模の課題」「グローバルイシュー」といいます。大きく分けると4つ。これらの課題は、包括的かつ相互的に関連しています。

地球環境

先進国の経済成長などに伴うオゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨、砂漠化、海洋汚染、ごみ問題、野生生物の絶滅など地球規模で発生している課題です。

貧困と開発

南北問題に伴う貧困、それによる食糧不足、飢餓、衛生面での問題、教育の問題、児童労働など子どもや女性など弱者にかかる問題、持続可能でない開発による環境破壊など。地球規模の構造的な課題なので、途上国だけでは解決できません。

平和と安全

核兵器や生物化学兵器など、国境に関係なく被害を及ぼす兵器の根絶、テロの問題、地域紛争の解決と平和維持、児童兵士の問題などです。

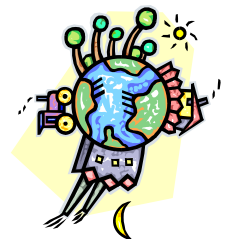
人権

民族差別や紛争などにおける難民の問題、貧困と開発のために過剰な労働を強いられる女性や子どもの問題、人間として最低限必要なものさえ保障されない極度の貧困の問題などです。

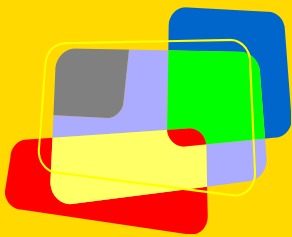
地域の課題と地球の課題はつながっている ~「持続可能な」社会を創るため~

地域の課題と地球の課題は別のもと考えてしまいがちですが、だれもが暮らしやすい「持続可能」な社会を創るという意味では共通しています。また、地域の課題を解決していけば地球の課題の解決にもつながりますし、地球の課題を解決しなければ、地域の未来もないのです。

地域の課題も地球の課題も「だれかが解決してくれる」ものではありません。途上国の多くの課題も原因を突き詰めていけば、わたしたちの日常生活につながってきます。わたしたち一人ひとりが地球の一員として、地域の一員として、自分の問題として、解決に向けて取り組んでいかなければ、次世代に課題を持ち越してしまうことになるのです。



參考資料



目で見るキリバス



海から昇る太陽の図柄は、この国が日付変更線に近く、世界で一番早く太陽が昇る国の一つであることを表しています。青は太平洋を、白い3本の波線は、ギルバート諸島、ライン諸島、フェニックス諸島の3つの地域からなることを示しています。太陽の上に描かれている鳥は、ギルバート諸島に多い軍艦鳥で、希望の象徴でした。

●人口●



92,428人(2005年 政府人口調査)



128百万人



●面積●



730km²

(対馬とほぼ同じ)



377,887km²

●言語●

キリバス語および英語が公用語

●宗教●

ローマ・カトリックとプロテスタントが主な宗派

●気候帯●

熱帯雨林気候

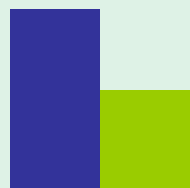
●民族●

ミクロネシア系(98%)のほか、若干のポリネシア系および欧州人が居住

●通貨●

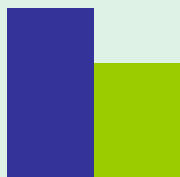
豪州ドル

●平均気温●



タワラ島 28
名古屋 15.4

●年間降水量●



タワラ島 2309.9mm
名古屋 1565mm

●日本との時差●

3 ~ 5時間



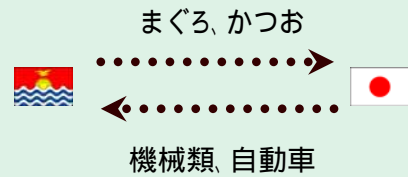
国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken) 人口・面積・首都・民族・通貨:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 日本の人口:世界子供白書2008(ユニセフ) 日本の面積:総務省統計局「日本の統計」 気候帯・平均気温・年間降水量:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 名古屋の平均気温・年間降水量:気象庁観測部観測課観測統計室「日本気候表」(S46~H12年の平均) 言語・日本との時差:世界の国一覧表(財団法人世界の動き社)

●主要産業●

漁業 コブラ(ココヤシの果実の胚乳を乾燥させたもの、菓子・マーガリン・石鹼などの原料となる)の生産



●日本との貿易主要品目●



●一人あたりのGNI●

1,230米ドル(2006年世銀)



38,410米ドル(2006年世銀)



●在留邦人数●



17人(2007年10月現在)

●在日キリバス人数●

7人(2006年末現在)

●都市人口の比率●

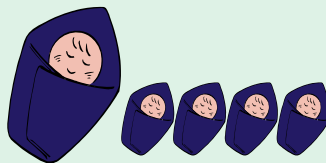


50%(2006年)

66%(2006年)

●5歳未満児の死亡者数●
(出生1000人あたり)

64人(2006年)



4人(2006年)



●初等教育
純就学/出席率
(2000~2006年)



●人口増加率●
(1990~2006年)



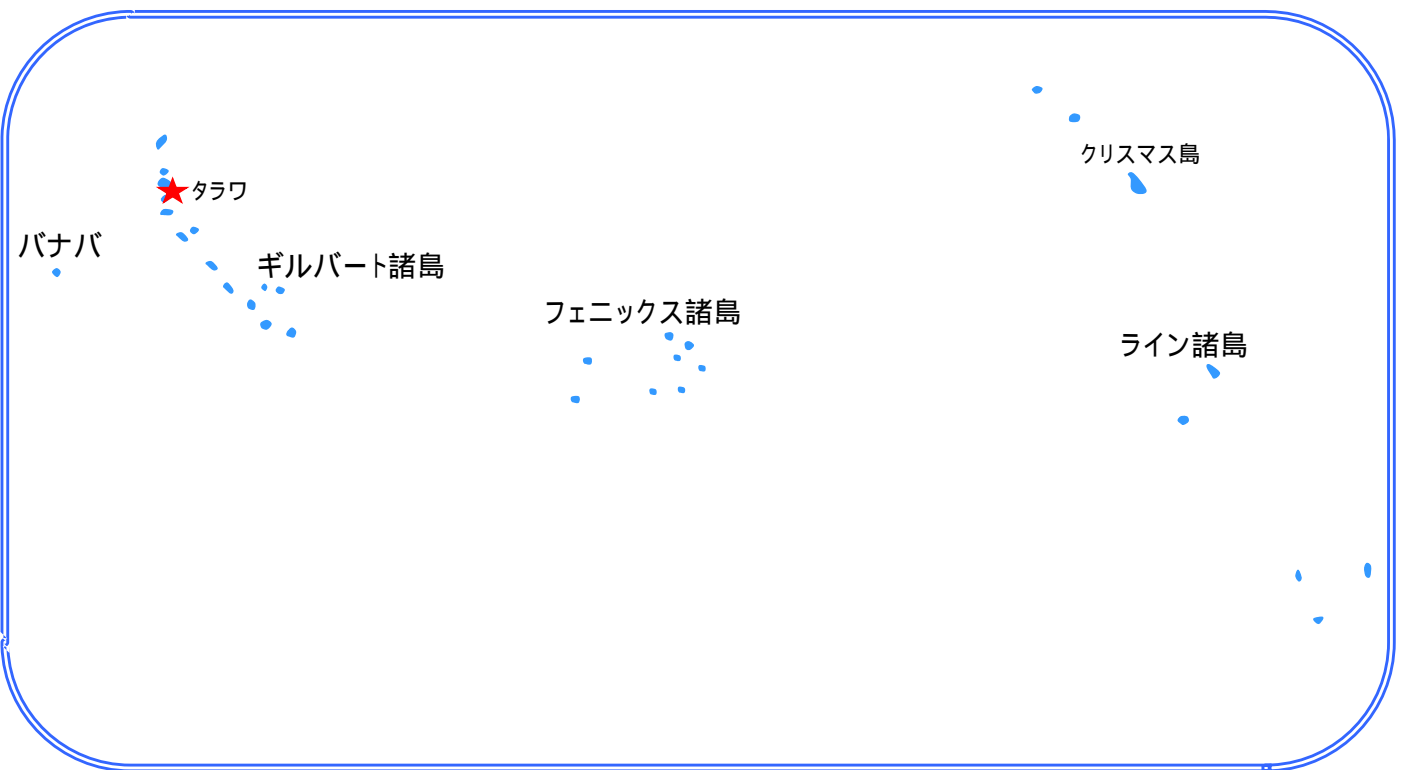
1.7%

0.2%



主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日当該国人数・外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・人口増加率・世界子供白書2008(ユニセフ)

キリバス地図



大洋州の広域図はP.8を参照



参考文献・データ等の出典

- 国際機関太平洋諸島センター[PIC] <http://www.pic.or.jp/>
 ・『太平洋島嶼国 国旗と概要』2002年
 ・『魅惑の観光スポット～マイクロネシア編～』2000年
 ・ガイドブック『キリバス』2003年
 ・ガイドブック『マイクロネシア連邦』2007年
 ・ガイドブック『マーシャル諸島』2005年
 ・ガイドブック『ニウエ』2008年
 ・ガイドブック『パプア・ニューギニア』2007年
 ・ガイドブック『ソロモン諸島』2005年
 ・ガイドブック『ツバル』2003年
 ・ガイドブック『クック諸島』2006年
 ・ガイドブック『フィジー』2008年
 ・ガイドブック『ナウル』2003年
 ・ガイドブック『パラオ』2003年
 ・ガイドブック『サモア』2006年
 ・ガイドブック『トンガ』2008年
 ・『統計ハンドブック2008』2008年改訂
 クリスマス島クリーンアップ基金[CCUF]ウェブサイト <http://www.christmasisland-clean.org/>
 クリスマス島からクリスマスカードプロジェクトウェブサイト <http://xmas.site.ne.jp/>
 マウリパラダイスウェブサイト <http://www.aurora.dti.ne.jp/~mpj/>
 小野賢太郎著『キリバス・ツバルガイドブック』1999年、キリバス共和国名誉領事館
 WCG編集室編『マイクロネシア「小さな島々」の素颜に会う』1999年、(株)トラベルジャーナル
 やしの実大学ウェブサイト <http://www.yashinomi.to/>
 外務省ODAホームページ <http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/>
 クリスマスソルトウェブサイト <http://www.xmassalt.com/>
 郡義典著『マウリ・キリバス』1996年、福澤英敏・(株)近代文芸社

ご協力いただいた方【敬称略】

久野義久(日本・キリバス協会)



2008年度教材作成チーム



一宮市
長久手町
扶桑町

田原市
幸田町

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
財団法人 愛知県国際交流協会

世界の国を知る  世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 キリバス共和国 

2009年3月

発行 愛知県

**企画
編集** 財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ

TEL:052-961-8746 FAX:052-961-8045

E-mail:koryu@aia.pref.aichi.jp

URL:<http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷 サンメッセ株式会社



